

様式1 令和5年度 山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	一人一人の心に寄り添った学習活動を通して、基礎的・基本的な知識や技能の定着を図り、自信をもって様々な事柄に意欲的に取り組む態度を養い、社会の中で主体的に生きていくために必要な「生きる力」を育む。
-----------	---

山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園校長 中村 知佳

本年度の重点目標	基礎学力の定着と学ぶ楽しさを感じることのできる授業の実践
	様々な体験を通して、自分を大切に、他を思いやる心を育む学習活動の充実
	プラザ内他機関を含めた関係機関との連携推進
	本校についての理解を深めていただくための取組の推進
	病弱教育に関する専門性の向上とセンター的機能の充実 働き方に対する教職員個々の意識改革

達成度	A	ほぼ達成できた。(8割以上)
	B	概ね達成できた。(6割以上)
	C	不十分である。(4割以上)
	D	達成できなかった。(4割以下)

評価	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自 己 評 価						
本年度の重点目標			年度末評価(1月1日現在)			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	基礎学力の定着と学ぶ楽しさを感じることのできる授業の実践	「やまなしスタンダード」における授業づくりの視点を踏まえ、個別の教育支援計画や個別の指導計画にのっとり授業改善の取組	校内研究での成果と課題の検討			
		個別授業から集団授業へ移行とICT教育のさらなる充実	一人1実践の報告			
2	様々な体験を通して、自分を大切に、他を思いやる心を育む学習活動の充実	授業や特別活動(集会、委員会活動、うぐいす委員会)や総合的な学習の時間等における、小集団で他者と協力して活動の充実	アンケート等による検討			
		様々な体験的学習を実施し、他者と自分との違いや、様々な考え方に触れ、協調性や社会性を育む	文化的・体育的行事、校外学習等の教育活動の充実			
3	プラザ内他機関を含めた関係機関との連携推進	子ども心理治療センター、児童相談所、こころの発達総合支援センターとのよりよい連携	管理職打ち合わせ、移行会議等の企画・運営の協力			
		各機関が行う相談支援事業への協力・帯同	こころの発達総合支援センター、児童相談所等からの要請による帯同支援			
		退所後の生活を見据えた関係機関との連携についての検討・追支援	児童相談所、地域の小中学校等との連携・支援体制の構築			

学校関係者評価	
実施日(令和5年2月 日)	
評価	意見・要望等

4	本校についての理解を深めていただくための取組の推進	地域清掃活動を含めた地域交流の促進	地域清掃・作品の展示等 地域との関係強化			
		災害発生時の一時避難所としての役割の確認	一時避難所運営マ ニュアルの作成			
		積極的な情報発信	授業、学校行事等に關する情報の発信とHPの更新、学校説明会実施			
5	病弱教育に関する専門性の向上とセンター的機能の充実	病弱教育、児童生徒理解、ICT活用等、専門性向上に関するの研修会の実施及び情報提供	各種研修会の計画的な実施			
		病弱連携会議の企画・運営の協力を通じて山梨県内の教職員に病弱教育を還元	病弱連携会議(心身症部会)の研修会の企画・運営			
6	働き方に対する教職員個々の意識改革	出退勤記録による勤務時間の管理	全職員時間外労働月平均40時間以内			
		会議、業務等の効率化の推進	業務分担の平準化 ICTを活用した業務の効率化 報告書等の簡略化			

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。